



学校だより 11月号

～笑顔いっぱい やる気いっぱい 地域に育つ緑園の子～

泉区緑園五丁目28番

TEL (811) 6710

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/ryokuenhigashi/>

副校長 松永 淳子

それぞれの深まりを感じて

今年の秋の始まりは、天候が不順で気持ちのよい秋晴れにはなかなか恵まれませんでしたが。前期と後期の間の休みを挟んで、やっと青い空を見ることができるようになりました。

休み時間、子どもたちが真っ青な空の下、笑顔满面、元気な声で走り回っている姿を見ることができるということはなんて幸せなことなんだろうと感じている今年の秋です。

秋というと食欲の秋・スポーツの秋・読書の秋・芸術の秋と何をするにも夢中になって取り組める季節です。緑園東小学校では毎年この時期は緑園音楽祭に向けて音楽の秋を満喫しています。今年の緑園音楽祭のスローガンは「見つけよう 音楽の形 感じよう 伝えよう 音楽は友達」です。

スローガンの通り音楽と友達になってほしいと願っています。ただ、なかよしの友達になるまでにはたくさんの葛藤を感じるようになります。楽器の選択をすること、音を出せるようになること、メロディーを奏でるようになること、みんなとテンポを合わせることができるようになること、最後にクラスの一人としてクラスのハーモニーを奏でることができるようになることなどです。練習を重ねていくことで様々な課題にぶつかり、その困難を乗り越え一つの素敵な音楽ができあがることになるのです。だからこそ、聞いている人の心を感動させることができるのではないのでしょうか。

休み時間「ぼろんぼろん」というぎこちない音が聞こえてきます。子どもたちの表情は真剣そのものです。そんな表情を見ているときは、心の中で「がんばれ。あきらめないで。」と思いながら廊下を通り過ぎます。自信ありげにクラスのみんなで演奏を楽しんでいるときは、「よく頑張ったね。素敵な音楽の完成だね。」と感じながらその曲を聞いて楽しませてもらっています。音楽の素晴らしいところは、同じ曲を演奏しても演奏する人によって違った曲に仕上がり、それぞれの良さがその曲の中に見出せることができることではないのでしょうか。見つけた音楽の形はどんなものだったのでしょうか。そして何を感じ、どう伝えるのでしょうか。音楽祭の日には、それぞれのクラスのよさがその曲目の中にたっぷり見いだせることと思います。

この音楽祭へ向けての活動を通して一人ひとりの子どもたちが多くのことを感じ、それぞれの深まりを身に付けてくれたらうれしいです。

今年で9回目を迎える緑園音楽祭です。きっと皆様の心を感動させる仕上がりになっていることと思います。一人でも多くの保護者や地域の皆様のご来校を心よりお待ちしております。

また、12日(土)から18日(金)まで「学校を開く週間」になっています。一人一役の保護者の皆様のご協力を得て、安全で安心した学校の環境を保ちつつ、実施することができますことに感謝申し上げます。